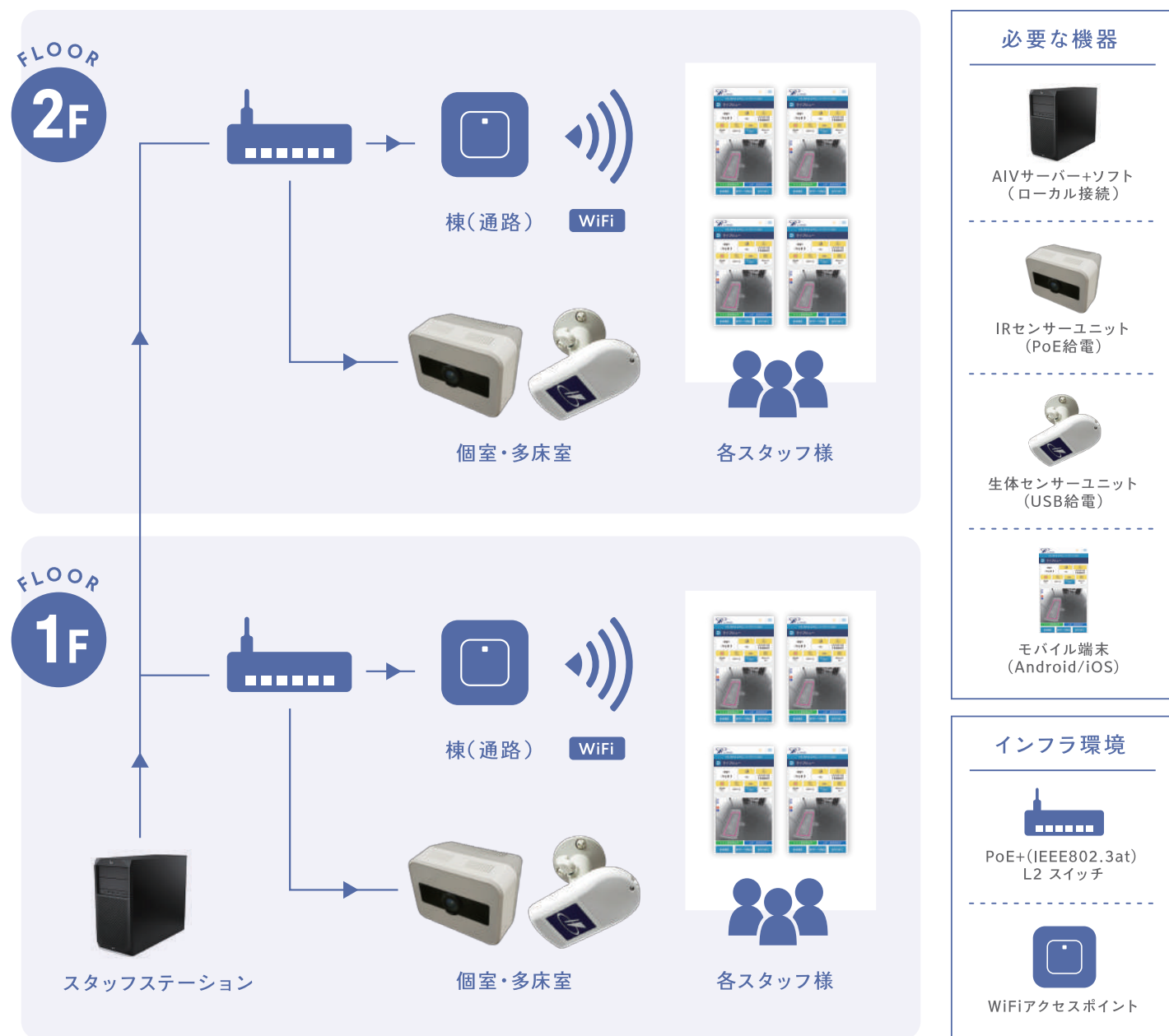


システム構成図：2階建て施設様のイメージ



●ローカルサーバー（標準版）

対応OS	OS:Cent OS Linux
パソコン推奨スペック	●CPU:インテル(R) Xeon(R) プロセッサー E-2124G(3.4GHz 4コア)以上 ●メモリ: 8GB以上 ●ストレージ空き容量:HDD SATA 2TB以上 ●ネットワークインターフェース:1000BASE-T ●モニター解像度:1280×1024以上 ●DVD-RAM

●モバイル端末

推奨モバイル	対応OS:Android 6.01以上/iOS 9以上
--------	-----------------------------

※クラウドサーバー使用時はサーバーPCを必要としません。

●センサーユニット本体

外見寸法	122×92×56(mm)
質量	450g(ケーブル含まず)
電源仕様	PoE HUBからの給電またはACアダプタ
定格電圧容量	DC12V 3.0A
LAN接続	1000BASE-T (外付け無線LAN中継器はオプション)
設置場所	壁 / 天井 ※接地面が十分な重量を保持できる強度を有すること
画角	水平90度×垂直70度
消費電力量	15W以下/生体センサー連動時 17W以下
使用時温湿度環境	0℃～50℃
機器耐用年数	5年

販売会社名



エイ アイ ビューライフ 株式会社

〒102-0092 東京都千代田区隼町2-13 US半蔵門ビル201

TEL:03-6261-6327 URL:www.aiview.life

A.I. Viewlife

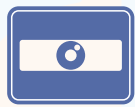
自立支援型 介護見守りロボット

介護の現場を「見える化」することで入居者様の自立支援促進と重度化を防止。

現場の生産性の向上や介護人材の確保につなげます。



01 危険予兆動作や状態の検知



入居者様の居室エリアやベッド周りでの「危険状態や予兆」を広角IRセンサによって検知。室内を完全に見える化します。

02 職員に通知



離床など危険度の高い動作やうずくまり、生体異常などには最優先でモバイルに通知します。離れていても部屋の様子を確認できます。

03 状況を見てかけつけ



モバイル画面などに映された画像を見ながら、職員が各部屋にかけつけ、素早く対処することで重篤な事故を未然に防ぎます。

04 24時間365日記録可



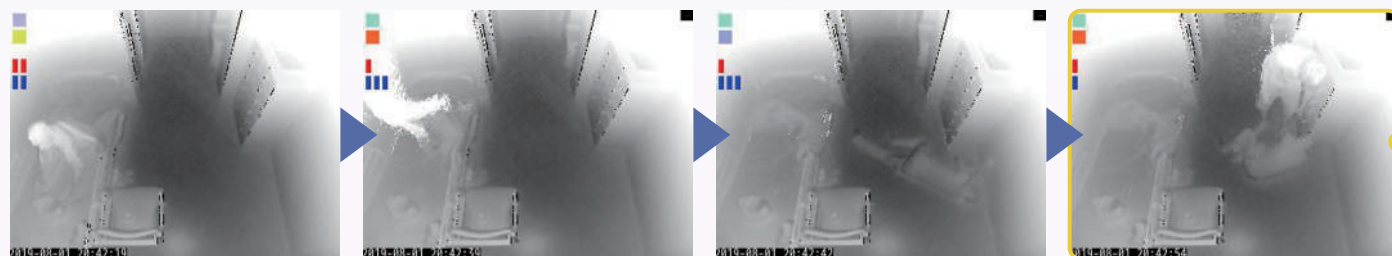
入居者様の一連の動作や、職員の対応など室内の様子は動画を記録できます。事故原因の振り返りが行え、対応につなげます。

ご利用イメージ



具体例

寝ぼけて布団と勘違いしてベッドの上に立ってしまい、ベッドから踏み外して転倒した一連の記録動画



従来製品では
「事故の結果」
のみが
分かるだけ

このように「事故の過程」が見える化することで、①原因が特定されるので次の予防策につながる、②事故の重大度を確認できるので事故後の対応を素早く正確に行えるなど、従来製品にないさまざまなメリットが得られます。

